



サロンあべの



お昼どき、 サロン・あべのはイタリアン。

〈サロン・あべの〉12月の出会い

では初参加の人、久しぶりに参加された人たちが、和やかにそれぞれ

平成15年12月6日(土)午後、

の近況や今年1年を振り返って

〈サロン・あべの〉12月の出会い

の話がにぎやかに弾みました。

いは、地下鉄長居駅のすぐ近く、

デザートにブラッドオレレンジ

オープンテラスのあるオシャレな

のレアチーズケーキとコーヒー

イタリア料理店「トラットリア

や紅茶を楽しみながら、皆さん

「アベレッツア」において、「お昼どき、

サロン・あべのはイタリアン」と題して昼食会を開催しました。

この日は、シェフおまかせの特別メニュー。まず、季節の前菜

最終の運だめしが行われました。

5種盛り合わせに自家製のパン、

この日はあいにくの雨空で、

フオカッチャです。次に自慢の自家製手打ちパスタは、キノコ

参加者の足下が心配されました

とポロネーゼのスパゲッティで、

が、行き帰りの時間帯には雨は

腰のあるパスタとソースのから

止み、参加者の日ごろの行いの

みが絶妙でした。魚料理はミシマオコゼとアサリの白ワイン蒸し(ジエノベーゼソース)で、柔らかな

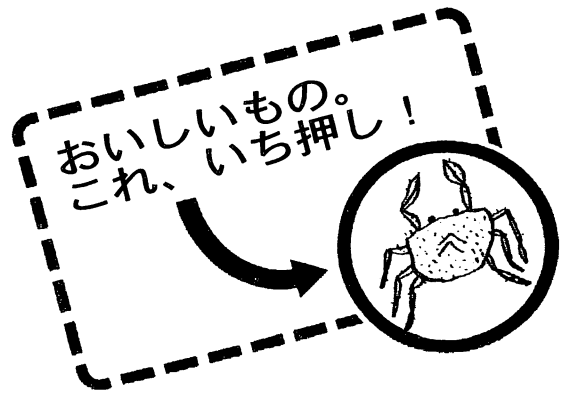
身とスープの旨味が楽しめ、

おいしいいただきました。

も心も満ち足りた(サロン・あべの)12月の昼食会でした。

お料理が進む中、各テーブル

参加者17名(山村貴司)



海辺に育った幼い日を思い出す、新鮮でおいしい味でした。すばらしい夕日と共に思い出に残っています。
(岡賀寿子)

別に無い。

〈サロン・あべの〉の皆様にご挨拶できたことがうれしいです。皆々様、御身体ご自愛なさいませ。

味いお料理に感謝・感謝。また、よろしく。
(山本鈴子)

長居センターのどんこつラーメン、おいしかった。今日のイタリアンあさりスープもおいしかったです。いつもおいしい処に行かせてもらって、ありがとうございます。
(小嶺佐栄子)

今日のイタリア料理の前菜がおいしかったです。

タイ料理のトムヤムクン(エビの入ったスープ)と神座かむくらのラーメン。

今日のイタリア料理は、おしゃれで良かった。

◇

〈松葉力二料理が一番おいしく思いました。

鳥取県の賀露港かろ近くの民宿です。

◇

難波の「とくべえ」という洋食店のハンバーグ定食がおいしい。今は店の場所が変わってしまった、なかなか行けないけれど、もう一度食べたいです。
(久木浩)

ザ・リッツ・カールトンの「はながたみ」のミニ会席は、美味だった。値段は3500円。
(糀谷終一)

◇

(糀谷終一)

◇

昨年は天王寺、今年は長居で、〈サロン・あべの〉の忘年会がありました。今年は、イタリアのおいしい物をいただきました。

(倭 栄子)

◇

今までに食べたものでおいしかったもの。それは平成8年いや7年12月31日、赤穂岬に一滴した夕食での魚料理の数々です。

◇

毎年、新しいお店に連れて行ってくださり、ありがとうございます。それぞれの違った美

◇

約10年程前、友達と4人で和歌山のよさみと言う所で、コーズ料理の中に出た、伊勢エビの天ぷらが今まで食べた中で一番おいしかったです。

◇

おいしかったものⅡさぬぎうどん。
おいしかったところⅡ奈良ホテル。

今日のこの場所にまた来たい

です。

(藤井さゆり)

◇

玄界灘のイカの造りと、魚料理は何でも美味しかった。徳島のシエルトンホテルのエスカルゴが美味しかった。この二つが忘れられない。

本日のイタリアンのお魚料理、美味しかったです。(山戸智光)

◇

美味しいものの想い出は

冬の京都、妹と三十三間堂を拝観した後、冷え切った体で飛び込んだのが筋向かいの雑炊の店。30余年前それが老舗の「うどうすいのわらじや」とは知る由もなく、地味ながら風格ある店構えに気づくべきでした。座敷に通され、まず供されたのが抹茶とお菓子、メニューもなく今

さら値段を聞くわけにもゆかずドキドキ。とはいうものの、次に出された白焼きの鰻・麩・九条葱・春雨の具が入った「うなべ」の美味しさは、香ばしく上品な出し汁の味が今も忘れられませ

ん。あの絶品の味を今度はサイフを気にせず、ゆつくりと心ゆくまで味わいに行きたいねと妹と話しています。

因みに、その時は3500円でした。現在は抹茶・突き出し・うなべ・うどうすいで6000円だそうです。(表谷恵美子)

◇

食べ物「おいしいね」と言い合いながら食べられる時が一番。おいしさも倍増する。年に一度のサロンでの昼食会はいつも新しい場所。で、今回はどんな内容? と興味がわく。味音痴なのか絶対にあの味、この店とい

う所がない。そのかわりに、その時の雰囲気がい出に残っている。今年のサロンも期待通り、イタリアンの店名にふさわしいメニューで、食事時間もゆつたりしていた。熱々のスパゲッティがおいしかった。デザートはケーキも口にさわやかで、幸せ気分になれた。(富田慶子)

◇

たまごがきらいになった理由。小さい時、家が農家だったもので、にわとりを飼っていて、産みたてのものを食べてしまいました。身体に最も良いと言われま

◇

すが、産みたてのものは生臭くて、いまだにきらいです。魚が好きなので、寿司、さしみが好きです。ラーメンやパスタなど、めん類も好きです。





12月の出会い・・・お昼どき、サロン・あべのはイタリアン

今回のイタリアンは、おいしかったです。
(山村貫司)



前菜の盛り合わせ
奈良の「辻花」の創作料理



20年も前のはなし。

おいしくて、実質的なこのお店をよく利用していた。店内のウインドには、焼き魚、煮魚、煮

取って、飯の大盛りと汁を注文して、大分済んだところで、お店の人が「空いたお皿、下げますね」と、手際よく片づけていった。

物類、浸しもの、玉子(生もあれば、だし巻、鰻巻き、オムレツも)、フライ、天ぷら、汁、香の物・・・といったものが並べられてあって、お客が自分で好きなものを取ってくる。希望すれば温めてもくれる。
「えらい少食でんな？」
「ムム・・・」

このだし巻は、今も健在だろうか。
(石)

ふわりと柔らかく、つるんとしていて口に合うので、来れば必ず取っていた。この時も、他に何品かわり、特色があり、しかも足の便
12月のサロンの昼食会は、雰囲気もお料理も毎年がらりと変



● サロンの **絵はがき** ●
5枚1組 ¥180-

がよいお店を選んでいただき、楽しみに寄せていただいています。

今年は人気のイタリア料理だと、心待ちにしていましたのに、肝心の時になって体調不良でダウン。本当に残念でした。何か忘れ物をしたような寂しい気持ちでおりましたところへ、出席しなかつた私にまで、今までのサロンの昼食会の思い出をとのこ。うれしい限りです。そうは申しましてあまりに多くのお店へ連れて行っていただき、さて選ぶとなかなか難しいものです。私の印象に残った順に思い出すまま挙げさせていたいただくことにいたします。

*** 阿倍野HOPP「庵」**

阿倍野の若者の街HOPPは、どうも私には近づきがたいところと、半ば諦めていましたが、この時は主人ともども寄せていただき、サロンのお陰で若者の仲

間入り出来た楽しいひとときで、お料理は新時代の「新和風創作料理」を、カジュアルにしかも落ち着いた店内でいただきます。アイデア豊かなお料理が、次々と思いがけない形で出てきまして、楽しませてもらえました。お味はもちろんどれもとてもおいしいでした。

間入りの良いお店でした。お料理はとにかく、特に印象に残っているのは、デザートに出てきたコーヒートと大きいシュークリームです。本当に忘れられないおいしさでした。

美的感覚に溢れ、さすがにお味も申し分なく、量的にも私には「松崎」は高級感のある本格的な日本料理で、器、盛り付けなど

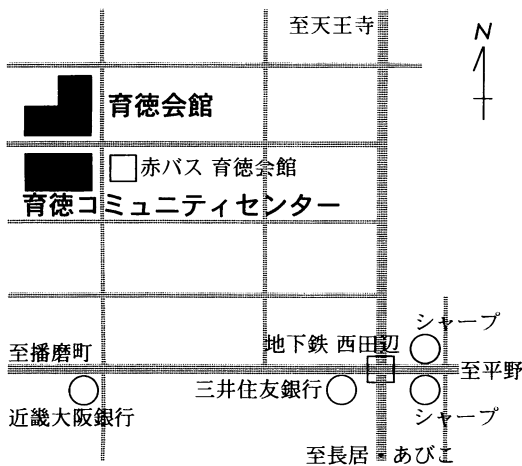
「松崎」は高級感のある本格的な日本料理で、器、盛り付けなど美的感覚に溢れ、さすがにお味も申し分なく、量的にも私には

美しい感覚に溢れ、さすがにお味も申し分なく、量的にも私には

お知らせ

<サロン・あべの>2月の出会い

内容…DVD鑑賞会
 ハリー・ポッターと秘密の部屋
 日時…2月21日(土) 午後1時~4時
 場所…育徳コミュニティセンター2階
 研修室(スロープ・車いすトイレ有)
 大阪市阿倍野区阪南町5-15-28
 TEL 06-6621-1901
 最寄り駅= 地下鉄御堂筋線「西田辺」
 赤バス「育徳会館」下車すぐ
 会費…なし
 問い合わせ先… TEL 06-6691-1028 (富田慶子)



プライドと誇り

プライドとは「誇り」の意味だろうと思っていたが、英和辞典を調べると面白いことが書いてあった。

つまり、プライドには「真のプライド」と

「偽のプライド」があるというのである。それぞれの日本語訳として「誇り」と「自尊心」、そして「高慢」と「思い上がり」が当ててあった。

しかし実際には「真のプライド」と「偽のプライド」を区別するのは難しいだろう。たとえば、ある人がいて生活に問題がかかえている。誰かに助けを求めたいが「プライドが邪魔になって助けてとは言えない」という。この場合のプライドとは「高慢」なのだろうか、それとも「誇り」なのだろうか。

誰の助けも無く自分は生きていけると信じているのなら、これは「高慢」かもしれない。なぜなら人は助け合って生きていくものであるから。しかし、できるかぎり自分のことは自分でやっていきたいという意思の表明であるのなら、自分の力を信じるという意味で「誇り」なのかもしれない。客の集らない料理人が「修行」という名

目で「達人」と呼ばれる料理人のもと、基礎から料理を学びなおすというテレビ番組が放映されていた。その番組のナレーションのなかでしばしば流れされたのが、修行をしている人が「どこまでプライドを捨てられるか」という言葉だった。

「自分だって二十年、三十年、料理人としてやってきた」というプライドがあるのに、自分と同年代か、それよりも若い「達人」に徹しく注意され、叱責される。それに耐えられずに反抗的になったり弁解したりすると、「あんたには、まだプライドがある。それが邪魔になっている」と説教されてしまう。

この場合のプライドも「高慢」なのだろうか。自分なりの方法でやってきて失敗して、どうにもならなくなったのに、それでもまだ同じようにやっていけばなんとかなると思っているのは「思い上がり」なのかもしれない。

こう考えてみると、外来語であるにもかかわらず、なぜプライドという言葉が多用されるのかわかる気がする。つまり「高



「慢」も「思い上がり」も、日本語では一時的にせよ、成功している人を連想させるのだろう。逆に言えば、悩んでいる人や失敗している人に「高慢」や「思い上がり」という言葉は使にくい。それに対してプライドという言葉は外来語であるために、言葉としての使い方に強い制約がなかったのだろう。

また外来語であるプライドを使うことによつて意味が不明瞭になり、「高慢」や「思い上がり」といった倫理的に非難されるべき内容が隠されてしまう。そのため、より一層、安易に使える言葉になつているのかもしれない。

しかし、だからこそプライドなどという外来語を使わず、「高慢」や「思い上がり」と言い換えたほうが良いのではないか。人は失敗していても、自信を失つていても、それでも同時に「高慢」になれるし「思い上がり」こともできる。一見矛盾するようだが、それを直視したところに新しい道が開けるように思えるのだが。

(知)

また新しい年がやってきた。若い頃はお正月を迎えるというだけで胸がわくわくしていたが、最近はそんなこともなく、新鮮さもなくなった。やはり年のせいだろうか。

さて例年通り今年も何か目標をもって過ごしたい。この1年は「3文字熟語」をどれだけ覚えられるかチャレンジする。最初は「4文字熟語」を覚えようと思ったが、これは新聞や本によく出てくるので、あえて容易でない「3文字熟語」を選ぶことにした。

ちなみに現時点で「3文字熟語」をどれだけ知っているかここに列挙しておきたい。

「民主化、国際化、日記帳、可能性、理論的、積極的、消極的、新年会、忘年会、試写会、演奏会、発表会、同窓会、入学式、卒業

式、結婚式、未熟児、未亡人、未完成、未来凶、不規則、不安定、不可能、不定期、不思議、不満足、不参加、不自由、寝不足、本格的、無気力、無関心、無感動、無意味、無防備」

これらの「3文字熟語」はほんの一握りに過ぎないが、書いていてふと気づいたことがある。それは2文字の冠(あたま)に「不、無、未」をつけると「3文字熟語」になることが多く、逆に2文字の語尾に「会、式、的」をつけると「3文字熟語」になる場合も多い。そう

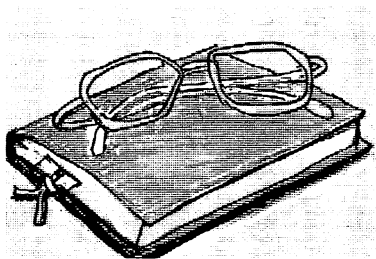
なると「4文字熟語」より「3文字熟語」の方が多いかも知れない。

いずれにしてもこの1年で出来るだけ多くの「3文字熟語」を覚え、無意味、無意義な日々を送らないようにしたい。

晴れのち晴れ 64

今年目標

稲垣恵雄



誰でも参加できる場所へ

第20回

秋は過ぎ、
来年の春に向けて準備する

林 典生

いたもので、パーツはある意味個性集団の集まりで、一見したところ、一筋縄ではいききょうにありません。

最初に、地面を平らにして、寸法を計って、骨組みを組み立てるのに必要な穴の位置を決めていきます。決まったところで、杭と金槌で、土に鉄パイプで出来ている骨組みを刺すための穴を掘っていきます。これが思ったより硬く苦労しました。

パイプの骨組みを刺した後で、その骨組み同士をつないでいく鉄の棒を結びつけるために、いろいろな種類の金具を組み合わせて骨組みを止めていきます。しかし、いざ組み立てる時になると、どの金具なのが全く分からず、参加者全員で「ああでもない、こうでもない」と意見を出し、試行錯誤を重ねながら作業を進めていきました。組み立てていくと結構うまくいくものの、一つ手順が前後すると一からやり直しをしなければなりません。

悪戦苦闘の末、ビニールを張るところまでどうにかこぎ着けました。そして、今開催している講座の一環として、堆肥作りを試みました。ところが、今年の夏から雑草を捨てていた場所に作ろうとしていたので、下の部分は堆

肥にならずに、むしろ腐敗しかけていました。そこで、新しい落ち葉や植物及び土を入れ直したり、空気を通す穴を作っていくなど、堆肥作りをするために、まったく一からやり直しました。これは泥まみれになりながら力のある大変な作業でした。

それが終わった後で、いつも来てくださる方と一緒にルッコラとハツカダイコンの苗を間引きました。後で聞いた話ですが、この間引いた苗は家に帰ってサラダにして食べたそうです。来年は今日作った堆肥がうまく出来、この堆肥で作った植物がすくすく育つように祈りながら、執筆しています。

ありがとうございます。

カンパ、小物雑貨・テレホンリスト・卓上日記のご寄贈、サロングッツズのお買い求めなど、ありがとうございます。(敬称略・順不同)

秋本美智子、安達尚子、石原栄(大阪義肢装具センター)、今西美奈子、岩本温子、

阪口悦子、中嶋良子、長島伊津子、宮崎徹朗、道川内喜美子、森芳江、山本鈴子、その他の方々。

秋はますます深まり、木々は紅葉し、それが過ぎると葉が落ちて来年の準備に向かっていきます。このような時期になると収穫の秋が過ぎ、冬の到来を告げ、園芸作業は植物を育てていくことよりも、来年の準備をする期間になります。

その一つの例として八幡市のコミュニティガーデンでは冬の間に苗を育てるビニールハウスの組み立てと、来年に使うための堆肥作りをしています。

まず、ビニールハウスの組み立てはコミュニティガーデンのスタッフとボランティアの計10名ほどで行いました。

ビニールハウスは知り合いの方からいただ

植物あれこれ

60

山口康二郎

世界に一つだけの樹を

ふとした縁で、富田さんの知遇を得、
サロン・あべのの出会いでおこがましく
も「草木に習うこと」と題して話をさせて
いただいたのは1998年6月20日でし
た。

以来、樹医・山野忠彦先生を偲ぶ、に続
いて、本稿を連載させていただき、気が付
けば60回に達していました。今、読み返し
てみると、赤面するくらい拙い文で、よく
我慢して連載を許してくださった編集委員
の皆さんに、只々、お礼を申し上げます。本

当にありがとうございます。

第1回でお断りしましたように、私は植
物の専門家でも何でもありません。定年後
を植物と仲良く生きたいと考えていただけ



イラストを描いてくださった石田美禰様
にはお礼の言葉もないくらい感謝していま
す。毎回自分の文はそっちのけで、挿し絵を
見るのが最大の楽しみになっていました。

今、私のところで、子育て支援で預かっ
ている3歳の子どもがスマップの「世界に
一つだけの花」を愉しそうに歌っていま
す。

ミリオンセラーのこの曲、スマップとい
う人気グループが歌ったのでヒットしたの
か、歌詞に惹かれてヒットしたのか定かだ
はありませんが、わが意を得たりという気
持ちです。みんなが「草木に習い」ながら、
生きていく社会になればこの上ないことで
す。私の願いは大地に根を張った「世界に
一つだけの樹」を持つ人がひとりでも多く
増えてほしいということです。

でしたのに、つい冒険心で承知してしま
い、厚かましくも60回になってしまいま
した。

私の拙文にも関わらず、毎回素晴らしい

「人間は地球を勝手放題にしてきた。樹
木を始め、全ての生物に感謝し、共に生き
ていくことを考えねば、万物の霊長とはい
えない」(山野忠彦)

長い間ありがとうございます。(終)

美智子のこんな話

岸田美智子

不便な所にある入所施設は人権侵害

新しい年が始まりましたが、今年はどうな
年になるのでしょうか？

去年は、私達障害者の生活を大きく左右す
る支援費制度がスタートしました。行政が権
限を持っていた措置制度から、障害者自身が
自己決定・自己選択できる契約制度への変更
でした。

でも、現在本当に障害者が一人ひとり、自
分に合ったサービスを選べる種類があまりに
も不足しています。その最たるもの一つに
入所施設が存在があります。入所施設の中
の生活についての数々の人権侵害問題がある
事はこのコーナーでも書いてきましたが、2
003年12月8日付朝日新聞朝刊に下のよう
な記事が出ていました。

ず、車いすでは利用できない状態やバス停か
らも遠く離れ

ており2〜30

分歩かなけれ

ばならない所

にあつたり、お

まけに坂の上

に建てられて

いたりして、外

出をより困難

に陥れる施設

が多いのです。

このような立

地条件の悪さ

が人権侵害の

問題を長い間、

温存させてし

大阪の入所施設の まった原因の一つだと思えます。この立地条
立地条件の悪さ、例 件の悪さや遠隔地の問題が社会的に明らかに
えば最寄りの駅がバ されていくキツカケになる裁判が、この記事
ス停しかない所にあ に掲載されていますので皆さんも読んでみて
るのに、そのバスの ください。

路線にはリフトバス 今年は、イラクへの自衛隊派遣があり、と
などが走っておら ても心配な社会状況ですが、ぜひ平和な1年

でありますように・・・。

「遠隔地への入所人権侵害」

知的障害者、都を提訴へ

「施設の外で暮らせる 施設の元入所者が9日、
ような支援を十分せず、 東京都を相手に2500
安易に、遠隔地の施設に 万円の賠償を求める訴え
入所させたのは人権侵 を東京地裁に起こす。背
害」として、知的障害者 景には地域の生活支援

よりも施設入所を優先し
てきた福祉の現状があ
る。

訴えるのは社会福祉法
人札幌育成園運営の寿都
浄恩学園(北海道寿都町)
の元入所者で、札幌市在
住の松岡敏雄さん(43)。
松岡さん側によると、
松岡さんは東京都日野市
にある都立の知的障害者
施設七生福祉園を90年に
退所し、働きながら一人
暮らしをしていた。94
年、住み込みの職場を解
雇され、緊急一時保護と

いう形で七生福祉園に収
容された。ところが、都
は、回園が定員いっぱい
で、都内のほかの施設に
も空きがなかったことな
どから、同市を通して松
岡さんらと相談の上、95
年2月から01年5月ま
で、寿都浄恩学園に入所
させたという。
松岡さん側は、地元で
暮らせる支援があれば、
学園への入所に同意はし
なかつたとし、「都はホ
ームヘルプなど地域の支
援を尽くさず、安易な入
所措置を取った」と主張
している。

94
年、住み込みの職場を解
雇され、緊急一時保護と



SALOON

読組ニュース

■「サロン淀川」2月の出会い

日時：2月15日(日)午後1時30分～4時
 内容：いろいろな朗読のかたち——「こもれび」の仲間たちと、声を出して読むこと、そして聞くことを一緒に楽しみませんか——

場所：淀川区民センター「やすらぎ」
 大阪市淀川区三国本町2-14-3

会費：なし
 問合せ先：淀川区社協(ボランティア・ビューロー)
 ☎06-6394-2900

E-mail: sorajii@iris.eonet.ne.jp

■「サロン・ひらの」2月の出会い

日時：2月28日(土)午前11時～
 内容：犬・猫の保護～ペットのQ&A～
 パネラー：NPO法人

カイアニマルトラスト代表=甲斐氏
 場所：「にこにこセンター」
 大阪市平野区平野東2-1-30

会費：500円
 問合せ先：安達 ☎090-7755-7899
 にこにこセンター ☎06-6795-2525

■「サロン・にし」2月の出会い

日時：2月14日(土)午後1時30分～4時
 内容：トランプゲームで楽しもう!

場所：西区在宅サービスセンター6階ビューロ室
 大阪市西区新町4-5-14

会費：なし
 問合せ先：関口 ☎090-4281-5641

■「サロン「アイ」2月の出会い

日時：2月14日(土)午後1時30分～4時
 内容：盲導犬と共に

パネラー：柏木佳子氏
 場所：「おかちやま」2階ボランティアルーム

大阪市生野区勝山北3-13-20

会費：なし
 問合せ先：生野区社協(ボランティア・ビューロー)
 ☎06-6712-3101

■「てくてく・すみよし」2月の出会い

日時：2月8日(日)
 集合場所・時間：日航ホテル・ロビー前午前11時
 内容：新年会(バイキング料理)

場所：心齋橋・日航ホテル
 キッチンダイニング セリーナ
 ☎06-6244-1036

会費：3000円
 申し込み締め切り：1月31日
 申し込みと問合せ先：山本篤江 ☎06-6692-8411
 携帯090-5168-5977

■「サロン・つるみ」2月の出会い

日時：2月6日(日)午後1時30分～4時
 内容：私のネパール放浪記

～国土14.7万平米(北海道の1.8倍)に
 秘められた魅力をスライドを見ながら楽しみませんか～

パネラー：山口豊子氏
 (日本語教師としてアジア各国で指導)

場所：鶴見会館2階
 大阪市鶴見区横堤5-5-51
 会費：500円
 問合せ先：鶴見区社協(ボランティア・ビューロー)
 田村 ☎06-6913-7070

■「サロン・にしよど」2月の出会い

日時：2月28日(土)午後1時30～3時30
 内容：植物が悲鳴を上げる～植物から学ぶこと～

ゲスト：山口康二郎氏
 場所：西淀川区在宅サービスセンター「ふくふく」
 大阪市西淀川区千船2-7-7

会費：なし
 問合せ先：西淀川区在宅サービスセンター
 ☎06-6494-0635
 中本 ☎090-9864-9678

■「サロンいたみ」2月の会いはお休みです

声で読書のお手伝い

音訳テープのご案内

音訳グループ「糸でんわ」のご協力で〈サロン・あべの〉紙第210号の音訳テープが出来ました。

■音訳テープ文庫

- (a) 〈サロン・あべの〉紙は、第1号より第210号までそろっています。
- (b) 〈サロン・あべの〉十周年記念誌「はあとが、はろー！」
- (c) 絵本「未知の記憶」(作・絵 中川勝彦)
- (d) 「ラジオたんぱ」放送「〈サロン・あべの〉平成7年5月の出会い」放送分(30分)
- (e) エッセー集「逃げた『ヨナ』～ボランティア活動の周辺～」(岡本栄一著＝糸でんわ音訳)
- (f) 「キミたちだけじゃ困るんだ～身障者だけで旅した十余年～」(山田誠1995・2・22著＝糸でんわ音訳)
- (g) 「金子みすずへの旅」(島田陽子著＝糸でんわ音訳)
- (h) 「夕やけ空のオニヤンマ」(牧口一著＝糸でんわ音訳)
- (i) 「ガベちゃん先生の自立宣言」(曾我部教子著＝糸でんわ音訳)
- (j) 「セルフヘルプグループ」(岡知史著＝糸で

んわ音訳)

- (k) 「名物 天王寺かぶら」(猿田博創作 難波利三監修＝大阪市立天王寺図書館制作)
- (l) 「知らされない愛について」(岡知史著＝ばけつと音訳)
- (m) 「愛 ひとり旅」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳)
- (n) 「奥田真祐美のシャンソン手帳」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳)
- (o) 「もうちょっと知っとく? 私たちの阿倍野」(難波りんご著＝糸でんわ音訳)
- (p) 「猫とシャンソン」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳)
- (q) 「ほんの少しの神に近い部分」(岡知史著＝糸でんわ音訳)
- (r) 「勁くしずかに」(河野勝行 編・著＝糸でんわ音訳)
- (s) 「たまごが ポン!」(稲垣恵雄著＝糸でんわ音訳)
- (t) 阿倍野名所旧跡いろはがるた(猿田博＝糸でんわ音訳)
- (u) 交わりのなかで ～ホームヘルパー残像～(加藤みどりさんを偲ぶ文章を作る会著＝糸でんわ音訳)

ご希望の方には、ダビング、または貸し出しをしますので、富田(☎06・6691・1028)まで。

寄りみち



山口さんに植物にまつわる60もの話を聞かせていただきました。各々心に残る話がおありでしょう。イラストを受け持つ者としてはドリアンがいちばん残っているようです。臆気にドリアンをイメージしているだけではダメなので、近所の果物屋さんに行きましたが用は為さず、高級店に尋ねると、店頭には置いてなくて、予約して2～3日後でないと入らない、と。これには慌てたらしいです。(石)

<サロン・あべの>VOL. 211 発行：平成16(2004)年1月17日 定価¥100
 編集人：<サロン・あべの>運営委員会 表題：中西利香・筆 文中イラスト：石田美禰子
 事務局：〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>
 TEL・FAX 06-6691-1028 郵便振替口座：サロン・あべの 00950-9-26941
 印刷：セルフ社 〒546-0044 東住吉区北田辺町4-23-2 ミスターDビル2F TEL06-6719-8212
 本紙はホームページでもお読みいただけます。書庫は、<http://pweb.sophia.ac.jp/~t-oka/salon/>